

Plan

事業名	道路維持補修事業			事業類型	施設管理	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	8 款	2 項		2 目	事業1	183	事業2	365
担当部署	部	都市整備部			課	土木管理課			
総合計画体系	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-④生活の要は道路			
事業の目的	道路交通の安全性及び利便性を確保する。								
事業の概要	市道の安全性及び利便性を確保するための維持管理。								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績	事業費(千円)		当初予算額	決算額
		①境界立会い・測量 ②修繕工事(道路・道路反射鏡) ③長寿命化修繕工事(橋梁・舗装) ④橋梁点検業務 ⑤跨線橋点検補修業務	財源内訳	国庫支出金	21,450
		県支出金	0		0
		市債	11,600		2,600
		その他	18,054		18,421
		一般財源	76,946		86,415

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
事業の評価	判定	判定理由					
	必要性						
	有効性						
	効率性						
総合評価							

Action

今後の方針	内容
事業費 維持	道路施設を適正かつ円滑に維持管理することにより、道路利用者の道路交通の安全性及び利便性が確保されることから必要不可欠である。

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	市道の安全性及び利便性を確保するための維持管理 良好な路面及び主要道路の草刈り並びに排水施設の維持管理を行う。(舗装補修、側溝及び溝蓋補修、草刈り及び堆積土砂の撤去、道路の安全対策)	市道の安全性及び利便性を確保するための維持管理 良好な路面及び主要道路の草刈り並びに排水施設の維持管理を行う。(舗装補修、側溝及び溝蓋補修、草刈り及び堆積土砂の撤去、道路の安全対策)	市道の安全性及び利便性を確保するための維持管理 良好な路面及び主要道路の草刈り並びに排水施設の維持管理を行う。(舗装補修、側溝及び溝蓋補修、草刈り及び堆積土砂の撤去、道路の安全対策)
事業費(千円)	491,336		

Plan

事業名	上ノ原藤ヶ池線(跨線橋)道路改良事業			事業類型	ハード	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	8 款	2 項	3 目		事業1	184	事業2	379
担当部署	部	都市整備部			課	土木建設課			
総合計画体系	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-④生活の要は道路			
事業の目的	東海道本線に架かる藤ヶ池跨線橋と上ノ原跨線橋は、老朽化が進み非常に危険な状況となっているため、現在は通行止めとなっている。本事業は、その2橋の改修を行うことにより、利用者の安全確保と生活環境の改善を図る。								
事業の概要	事業概要:水路跨線橋 N=1橋 導水路工 L=560m 既設橋梁撤去 N=2橋 H30 JR本社協議 H31 詳細設計 H32 調査設計								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績		事業費(千円)	当初予算額	決算額	
	JRとの事前協議に不測の日数を要し、年度内の業務発注が困難となったため、平成29年度の詳細設計の発注を見送り委託料全額を減額補正。		事業費(千円)	38,800	0	
			財源内訳	国庫支出金	0	0
				県支出金	0	0
				市債	34,900	0
				その他	0	0
一般財源	3,900	0				

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
事業の評価	判定	判定理由					
	必要性						
	有効性						
	効率性						
	総合評価						

Action

今後の方針		内容
事業費	維持	橋梁が改修されることにより、現在の通行止め規制が解消され、自転車、歩行者の利便性が向上するとともに、通行の安全性が確保され生活基盤の向上が図られる。

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	JR本社協議	詳細設計	調査設計
事業費(千円)	49,000		

Plan

事業名	横須賀橋郷北線(鷺津踏切)道路改良事業			事業類型	ハード	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	8 款	2 項		3 目	事業1	184	事業2	378
担当部署	部	都市整備部			課	土木建設課			
総合計画体系	めざすまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-④生活の要は道路			
事業の目的	鷺津駅北地区と南地区を結ぶ本路線は小中学校の通学路指定にもなっている通過交通量の非常に多い道路であるが、東海道本線を横断する踏切内には歩道が無いため、通学時には児童が車両を避けるため、軌道内を歩く等、大変危険かつ不便な状況となっている。よって、踏切内に歩道を設置し、通学路の安全確保と生活環境の改善を図る。								
事業の概要	事業概要:整備延長 L=36m(踏切部 L=14.4m) 歩道幅員 W=2m H30 予備設計(補正対応予定) H31 詳細設計 H32 用地買収・工事(踏切部)								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績	事業費(千円)		当初予算額	決算額
				0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
	判定理由						
事業の評価	判定						
	必要性						
	有効性						
	効率性						
総合評価							

Action

今後の方針	内容
事業費 維持	歩道が整備されることにより自転車、歩行者と車を分離することができるので、通学者等への安全性が確保され道路利用者の利便性が向上する。 本事業箇所はH29.1に踏切道改良促進法第3条第1項の規定により、改良を実施すべき踏切道として指定され、H32までに改善をすることが義務づけられた。

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	(予備設計)	詳細設計	用地買収・工事(踏切部)
事業費(千円)	102,000		

Plan

事業名	国道301号関連道路整備事業			事業類型	ハード	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	8款	2項		3目	事業1	184	事業2	372
担当部署	部	都市整備部			課	土木建設課			
総合計画体系	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-④生活の要は道路			
事業の目的	県が施行している国道301号の道路整備に合わせ、市道や水路の整備を行うことにより、安全性の向上と地域環境の改善を図る。								
事業の概要	事業概要: 国道301号整備に伴う市道等の関連工事 H30 利木バイパス旧道処理調整 H31 利木バイパス関連工事 横山歩道整備関連工事 青平踏切関連工事 H32 工事								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績	事業費(千円)		
		当初予算額	決算額	
国道301号(横山関連)排水路用地資料作成 A=10m ²	財源内訳	事業費(千円)	191	182
		国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		市債	0	0
		その他	0	0
	一般財源	191	182	

Check

成果指標	成果指標名(単位)		H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
	判定	判定理由				
事業の評価	必要性					
	有効性					
	効率性					
	総合評価					

Action

今後の方針	内容	
事業費 維持	県が進めている幹線道路整備に併せて生活道路を整備することにより、効率的な基盤整備が図られる。	

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	国道301号(利木バイパス)旧道処理調整	国道301号(利木バイパス)関連工事 国道301号(横山歩道整備)関連工事 国道301号(青平踏切)関連工事	工事
事業費(千円)	28,000		

Plan

事業名	新所原笠子線道路改良事業			事業類型	ハード	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	8 款	2 項		3 目	事業1	184	事業2	370
担当部署	部	都市整備部			課	土木建設課			
総合計画体系	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-④生活の要は道路			
事業の目的	本路線は、県道新所原停車場日の岡線と県道新所原停車場白須賀線を結ぶ幹線市道である。路線の東工区はH24に事業を完了しており、利用者の利便性の向上及び地域の交通安全を図るため事業区間を延伸し整備を行う。								
事業の概要	事業概要: 全体計画 県道豊橋湖西線～境宿門原線(L=780m) 1 工区 南部幹線～境宿門原線(L=370m) H30 物件調査 N=4件 H31 用地買収 A=110㎡、物件補償 N=1件 H32 用地買収 A=100㎡、物件補償 N=1件								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績		事業費(千円)	当初予算額	決算額
	用地測量 A=14,800㎡ 工事 L=37m 用地買収 A=286㎡	財源内訳	国庫支出金	19,250	11,255
			県支出金	0	0
			市債	14,100	8,200
			その他	0	0
			一般財源	2,335	8,816

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
事業の評価	判定	判定理由					
	必要性						
	有効性						
	効率性						
	総合評価						

Action

今後の方針	内容	
事業費 維持	事業を推進することにより、利用者の利便性の向上及び地域の交通安全が図られるとともに、地域の道路ネットワークが構築される。	

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	物件補償調査 N=4件	用地買収 A=110㎡ 物件補償 N=1件	用地買収 A=100㎡ 物件補償 N=1件
事業費(千円)	65,500		

Plan

事業名	新所原駅嵩山線道路改良事業			事業類型	ハード	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	8 款	2 項		3 目	事業1	184	事業2	381
担当部署	部	都市整備部			課	土木建設課			
総合計画体系	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-④生活の要は道路			
事業の目的	新所原駅と県道太田中原線を結ぶ本路線は、地域の幹線道路であるとともに生活道路としても重要な道路である。本路線を整備することにより、都市基盤を強化するとともに安全で安心なまちづくりを推進し、生活環境の改善を図る。								
事業の概要	事業概要：県道太田中原線交差点付近 整備延長 L=90m 計画幅員 W=16m H30 事業完了予定 工事 L=90m 用地補償 A=21㎡(N=1件)								

Do

事務事業評価

平成 29 年度	事業実績 用地買収 A=146㎡(2件) 物件補償 N=2件 工事 L=33m	事業費(千円)		当初予算額	決算額
		財 源 内 訳	国庫支出金	17,600	5,939
			県支出金	0	0
			市債	24,400	0
			その他	0	0
			一般財源	8,879	21,428

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
事業の 評価	判定	判定理由					
	必要性						
	有効性						
	効率性						
	総合評価						

Action

今後の方針	内容	
事業費	維持	整備により通勤、通学者等への安全が確保され利便性が向上するとともに、道路ネットワークの形成が図られる。

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	用地買収 A=21㎡ 物件補償 N=1件 工事 L=90m	-	-
事業費(千円)	40,570		

Plan

事業名	鷺津駅谷上線整備事業			事業類型	ハード	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	8 款	4 項		2 目	事業1	193	事業2	715
担当部署	部	都市整備部			課	土木建設課			
総合計画体系	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-④生活の要は道路			
事業の目的	本路線は国道301号と市道三ツ谷谷上線を結ぶ幹線道路である。鷺津駅及び谷上側は土地区画整理事業により整備が完了しているが、本区間は未整備の状態である。このため本区間の整備を行い、通勤通学者はもとより付近商業施設等の安全性の確保と生活環境の改善を図る。								
事業の概要	事業概要：整備延長 L=430m 計画幅員 W=16m(県道豊橋湖西線～ふれあい交流館交差点) H30 用地測量 A=12,250㎡ 物件調査 N=11件 用地買収 A=239㎡ H31 用地買収・物件補償 H32 用地買収・物件補償								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績	事業費(千円)		当初予算額	決算額
		用地測量 A=20,400㎡	財源内訳	国庫支出金	0
		県支出金	2,150	2,150	
		市債	6,100	0	
		その他	0	0	
		一般財源	1,250	7,055	

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
	判定	判定理由					
事業の評価	必要性						
	有効性						
	効率性						
	総合評価						

Action

今後の方針	内容	
事業費 維持	歩道を設置することにより歩行者及び自動車利用者の利便性が向上する。	

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	用地測量 A=12,250㎡ 物件調査 N=11件 用地買収 A=239㎡	用地買収 物件補償	用地買収 物件補償
事業費(千円)	345,330		

Plan

事業名	(都)大倉戸茶屋松線整備事業			事業類型	ハード	実施計画	○	区分	継続
予算科目	一般会計	8款	2項	3目		事業1	184	事業2	380
担当部署	部	都市整備部			課	土木建設課			
総合計画体系	めざまちの姿	5 調和のとれた便利なまち			基本計画	5-④生活の要は道路			
事業の目的	地域振興に資するため、(仮称)浜名湖西岸地区新産業拠点のアクセス道路となる都市計画道路大倉戸茶屋松線の整備を行う。								
事業の概要	事業概要:国道1号(大倉戸IC)~市道古見新居線(新居鉄工団地入口付近) 整備延長 L=1,600m 計画幅員 W=16m H30 用地買収 A=58,000㎡ 物件補償 N=11件 H31 工事(道路土工・道路構造物) H32 工事(道路構造物)								

Do

事務事業評価

平成29年度	事業実績		事業費(千円)	当初予算額	決算額
				9,900	1,106
	道路等詳細設計 L=2,120m(H30に繰越) 用地測量 A=12.0万㎡(H30に繰越) 地質調査 N=5箇所(H30に繰越) 物件補償調査 N=17棟(H30に繰越)	財源内訳	国庫支出金	0	0
			県支出金	0	0
			市債	7,200	0
			その他	0	0
一般財源			2,700	1,106	

Check

成果指標	成果指標名(単位)			H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
事業の評価	判定	判定理由					
	必要性						
	有効性						
	効率性						
	総合評価						

Action

今後の方針	内容	
事業費 維持	本路線を整備することにより、産業振興に資することに加え、市民の利便性の向上が図られる。	

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	用地買収 A=58,000㎡ 物件補償 N=11件	工事(道路土工・道路構造物)	工事(道路構造物)
事業費(千円)	1,978,214		